



願い事かなうといいな

■特集① 座談会・新議長と語る

テーマ「ひとづくり・まちづくりを考える」

P 2 ~

■特集② 6月定例会レポート 議案の審議結果

・熊野住宅・円光団地を用途廃止へ

P 6 ~

■議案等議決結果一覧表

P 9

■一般質問 9人の議員が市政を問う！

P 10 ~

■常任委員会レポート

P 20 ~

47号

2017.7.31 発行
山梨県甲州市議会

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域力の維持、強化を図るためには、担い手となる人材の育成と確保が重要な課題です。

その課題を解決するため、平成21年に制度化された地域おこし協力隊。本市においても現在までに6人の隊員を受け入れました。外からの視点と活力を持った人材である地域おこし協力隊は、まちづくりに欠かすことのできない存在となっています。

今回の座談会では、今年2月に議長に就任した丸山国一議長が「ひとづくり・まちづくりを考える」をテーマに、3人の地域おこし協力隊の皆さんと意見を交わしました。

議長 今回の座談会は「ひとづくり・まちづくりを考える」をテーマに、それぞれのお立場から率直なご意見やご提言を伺いたいと思います。まず始めに、皆さんが数ある自治体の中から本市の地域おこし協力隊を選んだ理由についてお聞かせください。

山田 私は青森県出身で大学から東京に出て、2年前の夏にこちらに来ました。一番のきっかけは、東京にいた頃

テーマ：ひとづくり・まちづくりを考える

ひとづくりから始まる

からの友人が甲州市に移住したことだと思えます。その友人が市内各地を紹介してくれたり、こちらに来たほうが会いやすくなるので楽しく生活できそうだなと思いました。

山口 私は香川県出身で東京の野菜レストランで働いていました。そこで働いている時にチヨークアートを始めましたが、野菜や果物の絵を描いているうちに実際に作っている農家さんを訪ねてみたいと思うようになりました。ご縁があって甲州市の畑を手伝いに来た時に、前任の地域おこし協力隊の方から「絵を使って甲州市をPRしてみないか」と言われ、地域おこし協力隊に応募しました。

石井 私は埼玉県出身で3年前の8月にこちらに来ました。学生の頃から山歩きをして山梨に来ていましたが、甲州市の山に来た時に大和地域の方と知り合いになり、地域おこし協力隊を教えてくださいました。

移住者から見た 本市の姿とは

議長 実際に皆さんが本市

に住んでみて、本市の良い点や悪い点など気付いた点はありますか。

山田 良い点は、地域活動に積極的にかかわる住民がとても多いことです。地域おこし協力隊ではない人たちがまちおこしに積極的に取り組むことはすごいと思います。悪い点は、自分の意見を言わないというか閉鎖的な部分が少ないと感じています。

山口 まちづくりに取り組む人たちは多いのですが、横の繋がりがあまりないと感じています。甲州市という大きな視点で目指す方向を定め、それに向かって協力したらいいのになと思います。また、外から来た人が地域に認識してもらうために、地域との繋がりを地道に積み上げる必要があると感じました。外から来た人と地元住民の両方の気持ちが増えたいと思います。

石井 良い点は、人が親切だと思えます。私のようなこの地域に残るか分からない未知数の人間を、自分たちの時間を割いて受け入れてくれた懐の深さはすごいと思います。



地域おこし協力隊OG
山口 祐子さん
(勝沼町勝沼)

座談会 新議長と 語る



地域おこし協力隊OB
石井 修平さん
(塩山中萩原)

平成29年5月22日開催

於：市議会議長室

未来のまちづくりは



地域おこし協力隊
山田 直孝さん
(塩山上於曾)



甲州市議会議長
丸山 国一 (塩山上於曾)

議長 本市にきた最初の頃は、地域の方も皆さんに対して半信半疑だったのかもしれませんが、どのよう感じましたか。

石井 地域行事への出席など地域で暮らすためにやるべきことをやり続けていたら、徐々に受け入れられていたと感ずるようになりました。ただ気になったのは、移住者に対して、その人がどんな人間なのか身構えて見ていた方がいたように思います。

山口 私は月1回発行していた協力隊通信によって地域に知られたり、チャークアールトが新聞に取り上げられて地域の方から話しかけられるようになりました。

山田 組や消防団に入っていないので地域の方とのかわり合いが少ないこともありますが、地域についてまだ分からない部分もあります。

石井 その人が何者かということが分からないと警戒されてしまうので、自分はこのよう人間だと言えるものを持つことができれば周りも変わっていくと思います。



座談会当日の様子。本市の現状や課題について率直な意見交換が行われた

移住者を地域と繋ぐ 受け入れ体制の構築を

議長 本市に住み始めてから現在まで、皆さんはさまざまな活動をされてきたと思います。任期中に感じたことや今後取り組んでみたいことはありませんか。

山田 現在、甘草を使った商品開発をしていて、今年は味噌とお茶の商品を完成させたいです。また、今後も甘草に携わって、甲州市には甘草があるというのを知ってもらえるような取り組みを続けていきたいです。

山口 最初は不安もありましたが、結婚して子どもも生まれて甲州市に来て本当によかったです。移住のきっかけも絵でしたが、今後もチャークアートを使って甲州市の魅力を発信し続けていきたいです。また、自分が移住者と地元住民の間を取り持つ人になって、受け入れの窓口のようなことをやっていけたらなと思います。

石井 甲州市に残ることが

できたのは地域の方の助けがあったからだと思うので、地域のために頑張りたいです。これから空き家や耕作放棄地が増えていくと、どうやって集落を維持していくかという課題に直面するときに来ると思います。そのときに地域の方と一緒に課題に取り組めるような関係を、日々の活動を通して築いていきたいです。

議長 移住者が増えれば、高齢化などによる地域力の低下を補うことができるので、移住者の受け入れ体制を行政と一緒にどのように作っていくかが重要です。

地域と行政が一体となり 人材の育成と確保を

議長 まちづくりはひとつくりと言われるように、地域づくりを担う人材の育成と確保が重要な課題です。どのように人材を育成していけばいいのか、皆さんの考えをお聞かせください。

石井 移住してきて「まちおこしをするんで手伝ってください」といきなり言っても、素性が知れない人に協力する人は少ないと思います。でも、まちおこしには地域の協力が欠かせないので、外からの視点を持ちつつ地域の人になって、地域の信頼を得ることが大切だと思います。まちおこしは外から起こすものではなくて、地域の人たちが課題に取り組んだ結果、自然と起きるものなのかなと思います。

議長 移住者を迎え入れて、これからの人材として育てていこうという意識を持っている人が地域にはいますか。

山口 少しずつ増えていくとは思いますが、今はそういう意識を持っている人は少ないと思います。

山田 地域だけ、行政だけではなくて、地域と行政が一緒になって取り組まない限り、人材の育成と確保は進まないと思います。また、私個人のご縁がきっかけで移住してきたこともありですが、人とのご縁をたくさん作ることでできる人材を育成していければいいと思います。

座談会：新議長と語る

来る人・住む人の 心に残るまちを目指して

議長 これまでさまざまなお意見を伺ってきました。最後になりますが、これから甲州市はどのようなまちであってほしいですか。また、市や議会に望むことがあればお聞かせください。

石井 都心から近いとはいえ、1時間以上かけてこちらに足を運んでくれる人たちの心を離さないもの、心に残るものがあるまちになるといいなと思います。

山田 若者やよそ者の意見や考えを受け入れて、変化し

続けるまちになってほしいです。また、果樹や農業以外にも歴史や景観などいろいろな引き出しを持っているまちなので、目的は何でもいいので来てくれる人が一人でも増えればいいなと思います。

議長 やはり変わっていくことは必要だと思えます。例えば農業にしても、外からの目を意識するだけで見せ方やおもてなしの仕方が変わってくると思います。

山口 観光農園では県外から来るお客さんも多いので、

その意識があると思います。東京からこちらの農家に嫁いできた友人がいますが、意識が違います。嫁ぎ先の観光農園をどう見せるか考えていたり、情報発信のためにいろいろな取り組みをしています。

山田 この座談会のように、市民が議員と話せる機会をどうやったら作れるのか。また、市にどんな要望をすれば、どのように動いてもらえるのかという流れを市民は知りたがっていると思います。

山口 このまちはこんなに素晴らしいところなんだというのを、小さい頃から知る機会があればいいなと思います。大人がまちのことを楽しそうに話せば、子どももこ

のまちですごく楽しそうだと思いますし、まちが好きになると思います。まちを好きになれば、まちについてもっと知りたくなって人にも勧めたくなると思います。だから、自分子どもにもブドウ作りって楽しいなと思ってもらえるように接していきたいです。

議長 本日は実りある座談会を開催することができました。ひとづくり・まちづくりのきっかけとなる地域おこし協力隊の皆さんが、本市に移住していただいたことは本当にありがたいことだと思えます。皆さんからいただいたご意見を持ち帰り、これからの議会活動やまちづくりに生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



モモの着色を良くするために摘葉作業を行う石井さん



山口さん親子とご自身のチョコレート作品



収穫した甘草の説明をする山田さん

6月定例会レポ 議案の審議結果

平成29年甲州市議会6月定例会は、6月9日から6月28日までの20日間の会期で開かれ、承認案、条例案、各会計の補正予算案など23件の事件について慎重な審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

条例案など23件を審議

◆市営住宅設置及び管理条例の一部改正は、耐用年数が経過し、老朽化した市営熊野住宅及び円光団地を用途廃止するため、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

一部を改正する省令の施行に伴い設置する、部活動指導員の報酬額を定める改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定は、農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員の選出方法の見直しや農地利用最適化推進委員の新設等が行われ、平成30年1月31日の現農業委員の任期満了をもって新体制に移行するにあたり、必要な事項等を定めるため制定するもので、可決しました。

◆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正は、子ども・子育て支援法施行令の一部改正により、低所得世帯・多子世帯等の経済的負担軽減を図るため、利用者負担の上限額にかかる特例措置が拡充されたことに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正は、学校教育法施行規則の

◆市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正は、介護保険法施行規則の一部改正により、地域包括支援センターに配置する主任介護支援専門員の基準が改正されたこ



用途廃止となる熊野住宅。深刻な老朽化が見られる

とに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

**慎重な協議の結果
請願1件を不採択**

◆弾道ミサイル落下時に市民の命と人権を守る具体的な対応策を求める請願は、総務常任委員会に付託して審査しました。本会議では、本請願を不採択とした総務常任委員長の報告に対して採決が行われ、起立採決の結果、賛成少数で不

採択となりました。

■委員長報告

相澤俊行 本請願の趣旨を踏まえ、慎重に協議を行った。委員からは、市に既にある対応策の周知の必要性及び訓練充実の必要性、さらに、戦争が起こらない平和的な努力も踏まえ複雑な世界情勢に対応する視点も必要であるとの意見も出された。今後も議会として、さらに研究すべき点の提案を重く受けとめることとして、起立採決の結果、不採択すべきものと決した。

（審査の詳細は20頁からの常任委員会レポートを参照）

老朽化が進む公営住宅

熊野住宅・円光団地を用途廃止へ

◆市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正は、学校教育法施行規則の

◆市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正は、介護保険法施行規則の一部改正により、地域包括支援センターに配置する主任介護支援専門員の基準が改正されたこ

議員定数削減の

発議案は継続審査へ

◆市議会議員定数条例の一部改正は、議員定数を18人から16人に改めるもので、議員発議案として5人の議員から提案がありました。

6月9日の本会議では本発議案に対して、「市議会議員定数検討特別委員会」を設置し、これに付託して審査すべきとの動議が提出され、起立採決の結果、賛

成多数で可決されました。本発議案を付託され、審査を行った市議会議員定数検討特別委員会では、採決を判断する資料と説明が不

十分であるため継続審査を求める意見が出され、起立採決の結果「継続審査とすべきもの」と決しました。

6月28日の本会議では、委員長報告に対して討論、本発議案に対して採決が行われ、起立採決の結果、賛成多数で継続審査とすることに決しました。

■委員長報告

廣瀬宗勝 議員定数については、議会改革研究会を設置して多くの時間をかけて議論し、次期の議員定数は現状維持の18人とする

ことで結論を得ていた。そのようななか、5人の議員から「議員自らが身を切る改革」、「人口減少社会」、

「議会費の削減」の観点から議員定数を16人としたい旨の発議案が提案された。今までの経過を考慮しつつ、定数削減のメリットやデメリット、また、周知には十分な時間が必要であることなど慎重な議論を重ねてきた。しかし、採決を判断する資料と説明が不十分であり、継続審査を求める意見が出されたことから、起立による採決を行った結果、本発議案

については継続審査とすべきものと決した。いずれにしても、議員定数は議会改革の重要な事項であり、今後も引き続き議論を重ね、市民の付託に応えることができるとの認識では一致した。

救命講習会を実施



5月17日に議員による救命講習会を実施しました。これは有事の際に、的確に救命措置ができるようになることを目的に企画されました。当日は東山梨消防本部塩山消防署の署員から、人口呼吸、心臓マッサージ、自動体外式除細動器（AED）の使い方

の指導を受けました。

■委員長報告に反対討論

矢野義典 「議員自らが身を切る改革」、「人口減少社会」、「議会費の削減」の3

つを柱として説明してきたが、これ以上理解を得ることができないと判断し、結論を出してほしいとお願いした。また、発議者がこれ以上説明できないと発言したにもかかわらず、継続審査を行う意味が見出せない。したがって、委員長報告に反対する。

■委員長報告に賛成討論
中村勝彦 特別委員会に

おいて発議者から提案に至った経過の説明があったが、議員定数を16人とする根拠や資料等もなかった。また、これ以上説明できないとの発言があったが、定数削減の議論は議会改革の重大な課題であり、発議者が説明できなくてもこの議論を止めてはいけない。したがって、委員長報告に賛成する。

市議会議員定数検討 特別委員会を設置

6月9日の本会議において、市議会議員定数条例の一部改正を審査するため、8人の委員から構成される「市議会議員定数検討特別委員会」が設置されました。

- 【委員会構成】(◎委員長、○副委員長、年齢順)
- ◎廣瀬宗勝 ○日向 正
 - 岡 武男 古屋 久
 - 矢野義典 相澤俊行
 - 黒川武雄 中村勝彦



各常任委員会を含め、20日の会期で開催された6月定例会

議案の審議結果

補正予算案 3件を可決

◆平成29年度一般会計補正予算（第1号）は、19億17万3000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ163億9917万3000円としました。主な歳出内容は、**総務費**として国際交流事業費に274万5000円、**農林水産業費**として農業振興一般経費等に606万5000円、**教育費**として学力を支える食育推進事業費等に884万4000円を追加するものです。主な歳入内容は、**県支出金**に587万3000円、**繰越金**に649万1000円、**諸収入**に631万7000円を追加するもので、可決しました。

◆平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）は、378万7000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ35億5757万8000円としました。主な歳

出内容は、**総務費**に278万7000円、**保険給付費**に100万円追加するものです。主な歳入内容は、**国庫支出金**に166万3000円、**繰入金**に151万9000円追加するもので、可決しました。

◆平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）は、142万7000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ10億801万5000円としました。主な歳出内容は、**簡易水道事業費**に2万7000円、**公債費**に140万円追加するものです。主な歳入内容は、**繰入金**に142万7000円を追加するもので、可決しました。

◆人権擁護委員に、佐藤光正氏（70・大和町日影）を推薦することに同意しました。

議場見学

6月5日にエイムズ市市民訪問団、12日に赤尾保育園、13日に大藤小学校・神金小学校・玉宮小学校、7月6日に塩山南小学校の皆さんが議場を見学しました。



エイムズ市市民訪問団の皆さん



赤尾保育園年長組の皆さん



大藤小学校・神金小学校・玉宮小学校の3年生の皆さん



塩山南小学校の2年生の皆さん

平成29年6月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※丸山国一議長を除く

種別	議案番号	議案名	議員名														結果						
			掲載ページ	高畑一幸	廣瀬明弘	黒川武雄	相澤俊行	岡部紀久雄	日向正	川口信子	中村勝彦	丸山国一	矢野義典	夏八木盛男	古屋久	古屋匡三		平塚義	野尻陽子	岡武男	廣瀬宗勝		
承認案	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(甲州市税条例等の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認		
	承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(東山梨環境衛生組合規約の変更)																			承認		
条例案	議案第50号	甲州市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について	P.6																		可決		
	議案第51号	甲州市個人情報保護条例等の一部を改正する条例制定について																					
	議案第52号	甲州市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.6																				
	議案第53号	甲州市過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第54号	甲州市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	議案第55号	甲州市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P.6																				
	議案第56号	甲州市道に設置する道路標識の寸法等に関する条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第57号	甲州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について																					
	議案第58号	甲州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.6																				
議案第59号	甲州市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	P.6																					
補正予算案	議案第60号	平成29年度甲州市一般会計補正予算(第1号)	P.8																		可決		
	議案第61号	平成29年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	P.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	議案第62号	平成29年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	P.8																				
人事案	議案第63号	人権擁護委員の推薦について	P.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
報告事項	報告第1号	平成28年度甲州市一般会計継続費繰越計算書について																			-		
	報告第2号	平成28年度甲州市一般会計繰越明許費繰越計算書について																					
	報告第3号	平成28年度甲州市介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書について																					
	報告第4号	甲州市土地開発公社の経営状況について																					
請願	請願第2号	テロ等準備罪(共謀罪)法案の創設に反対する請願		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	取り下げ		
	請願第3号	弾道ミサイル落下時に市民の命と人権を守る具体的な対応策を求める請願	P.6	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択		
発議案	発議案第1号	甲州市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	P.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	継続審査		

9人の議員が 市政を問う!



一 般 質 問

6月定例会では、産業・教育・福祉・防災・観光・基盤整備など市政全般にわたり、6月20日・21日の2日間、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。

1	川口 信子 議員	日本共産党	11ページ
2	矢野 義典 議員	公明党	12ページ
3	古屋 匡三 議員	希望の風	13ページ
4	岡 武男 議員	政和クラブ	14ページ
5	野尻 陽子 議員	甲州世直しやるじゃん会	15ページ
6	高畑 一幸 議員	政和クラブ	16ページ
7	廣瀬 宗勝 議員	甲輝会	17ページ
8	日向 正 議員	希望の風	18ページ
9	平塚 義 議員	甲輝会	19ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。また、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいずれも9月上旬の予定です。



川口信子議員

日本共産党

Q 財政支援を活用し、国保税率引き下げを

A 引き下げは困難だと考える

問 国民健康保険の都道府県化実施まで1年を切ったが、現在までの進捗よく状況を問う。

答 本市ではシステム改修を行い、新たな保険料率に対応できるよう準備している。また、県において、12月末に国から提示される確定係数によって納付金額の算出を行い、市町村ごとの金額が確定する予定である。

問 都道府県化すると国民健康保険の運営体制にどのような変化があるのか。

答 県も保険者となり、国保加入者の資格管理を行う。一方、被保険者証の交付など市民に身近な手続きは、市が引き続き行う。

問 国民健康保険の減免制度の適用状況を問う。

答 平成28年度は、国保税の減免が5件で、減免額は32万1100円であった。また、窓口負担の減免については申請がなかった。

問 滞納状況と短期証・資格証の発行状況を問う。

答 6月1日現在、滞納世帯数は267世帯で、国保加入世帯全体の4・89割である。また、短期証は170世帯、336人、資格証は84世帯、113人に交付している。

問 都道府県化に向けた国の財政支援を活用し、国保税の税率を引き下げる考えはあるのか。

答 この財政支援は、医療費給付の増額分の補てんとするもので、市独自の税率引き下げに充てるものではないため、引き下げは困難だと考えている。

ICTを活用した3校合同授業を実施

問 少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業の実績を問う。

答 平成27年度から大藤

小、神金小、玉宮小の3校で、先進的なICT環境における授業を展開しており、複数学校合同の同期型授業に取り組んでいる。

問 コミュニティスクール導入等促進事業の実績を問う。

答 平成28年度から菱山小で、29年度から大和小で取り組みを始めた。地域や学校の特性に応じた学校運営体制作りや広報活動などに取り組んでいる。

問 小中一貫教育のメリットとデメリットを問う。

答 教育長 メリットは、中一ギャップと呼ばれる急激な環境変化を解消できることである。デメリットは、児童・生徒の人間関係の固定化や教職員の

多忙化などである。

問 平和への取り組みについて、今までの取り組みと今後の取り組みを問う。

答 昨年8月に県内初の広島原爆資料展を開催した。本年8月にも市民ギャラリーで「原爆と人間パネル展」を開催する予定である。

問 勝沼地域へのホテル建設について、市民とともに景観を守ってきた歴史を踏まえ、慎重に臨むべきだと考えるが、見解を問う。

答 市長 ガードレールを景観配慮色に塗り替えるなど、景観に対する意識が高い地域である。今後、法令を遵守しながら慎重に協議を進めていきたい。



7月に発送された国民健康保険税納税通知書。8期に分けて納税する

※国保税の長期滞納により、通常の保険証に代わり交付される保険証。短期証は通常の保険証より有効期間が短く、資格証は医療費が全額自己負担となる
 ※情報通信技術のこと
 ※テレビやタブレット端末で離れた学校同士を同時中継しながら行う授業のこと

矢野義典議員

公明党



県外通学者への定期券購入補助により転出抑制に努めたい

Q 県外通学者へ定期券購入費補助を
A 実施に向けて準備していく

問 県外大学等への通学定期券購入支援事業の実施を提言するが、いかがか。

答 県では進学を契機とした転出の抑制に向け、遠距離通学者の定期券購入費を補助する市町村に対して助成を行っている。本市においても実施に向けて準備

していききたい。

問 「甘草ブレンドティー」など、甘草を用いた商品の今後の販売スケジュールを問う。

答 「甘草ブレンドティー」と「甘草の湯」という入浴剤を開発し、甘草屋敷で試験販売をしている。今後は実用販売に展開し、栽培・加工・販売のサイクルを確立させていききたい。

問 次期市長選について、再選出馬の要請にどのように応えるのか、市長の決意を問う。

答 市長 要請に応えることができるよう前向きに考えていきたい。

問 高校3年生（18歳）までの医療費無料化拡大を提言するが、いかがか。

答 平成28年度の医療費助成額は1億18万円であ

った。高校3年生（18歳）まで拡大した場合、約2300万円の増額になると推計される。他の医療費制度との兼ね合いや財政負担等、さまざまな角度から前向きに検討していきたい。

問 避難所指定校の防災機能の整備を推進すべきだと考えるが、いかがか。

答 避難所指定校の防災機能の整備は、児童・生徒と地域住民の安心・安全につながると考えている。今後、地区の自主防災会や学校長などと協議し、整備を検討していきたい。

問 県では4月に災害廃棄物処理計画を策定した。本市においても策定すべきだと考えるが、見解を問う。

答 甲州市地域防災計画に廃棄物処理対策について記載しており、県の災害廃棄物処理計画と整合性を図

りながら、策定に向けて取り組んでいきたい。

入学準備金
入学前に支給を

問 就学援助について、新入学児童生徒学用品費を入学前に支給するための準備を進めていく必要があると考えるが、見解を問う。

答 入学前の支給に対応するには、要綱の改正や制度の周知等が必要となるため、早急に準備を進めていきたい。

問 新生児聴覚検査への公費助成を提言するが、いかがか。

答 国から経済的負担の軽減に積極的に取り組むよう通達があった。公費負担の導入に向けて、前向きに検討していきたい。

問 校外学習推進について、周遊バスやそのコースを活用した校外学習の実施を提言するが、いかがか。

答 本市ならではの学習方法として魅力的だが、授業時間や移動手段などの課題があるため、学校や関係各課と協議していきたい。

古屋匡三議員

希望の風



勝沼地域への
4階建てホテル
市の方針に反していないか

甲州市
景観計画
の基本方針に従い指導する

問 高さ20メートルで4階建てのホテルが勝沼地域に建設されるといふ話を聞いたが、甲州市景観計画とどのように整合させていくのか。

答 甲州市景観計画では①高台からの景観や主要な山並みが見える環境を大切にする。②歴史的な資源、果樹園等を大切に、看板・広告を秩序あるものにする。③市民が参加しやすい環境を整え、地域に豊かさを創造するという基本方針を定めている。この方針に従い、建物の色や高さなどを指導していきたい。

問 市長は景観を大切にするといいながら、相反する行動をしていると思うが、見解を問う。

答 市長 峡東ワインリゾート構想において滞在型観光を推進しており、その観点から見ると宿泊施設が必要だと思っている。

問 ぶどうの丘の経営に

携わる内田経営改革委員と佐野総支配人が、このホテル建設計画に関係している。管理者である市長の監督責任は問われないのか。

答 市長 管理者として、よろしくないことだと言った。しかしながら、民間事業者が個人の土地を求めることに対して、反対することはできない。

問 このホテル建設計画は東横インによるものだと聞いているが、東横インをどのような企業だと認識しているのか。

答 経営状況が優良であり、会社としても現状では問題ないと考えている。

経営戦略を生かした
ぶどうの丘の経営を

問 ぶどうの丘について、経営戦略を今後の経営にどのように生かしていくのか。

答 財政計画について

は、内部留保金もあるが、不足分について企業債の借り入れも検討していきたい。また、多様化するニーズに対応するために情報収集を行い、改善すべき点は改善しながら経営していきたい。

問 民間事業者の活用はどのように検討していくのか。

答 経営改革委員会の意見を聞くとともに、関係部署で構成する庁内協議委員会も設置し、さまざまな角度から検討していく。

問 サービスの充実など、ソフト面は今後どのように対応していくのか。

答 ワインに関する学習や市内観光施設での接客研修を実施している。今後も職員の資質向上に向け、研修を進めていきたい。

問 職員が明るくないという話を聞くが、部下のモチベーションが上がるような指導が必要ではないか。

答 職員の健康状態にも気を遣いながら、明るい接客に努めていきたい。

問 日本農業遺産に認定されたことをどのように周知していくのか。

答 ポスター等の掲示に加え、観光キャンペーンなどでPRしていく。また、小中学校の郷土学習や生涯学習講座にも取り入れていきたい。

問 世界農業遺産認定に向けた再申請は峡東3市で進めていくのか。

答 峡東3市で連携して進めていく。



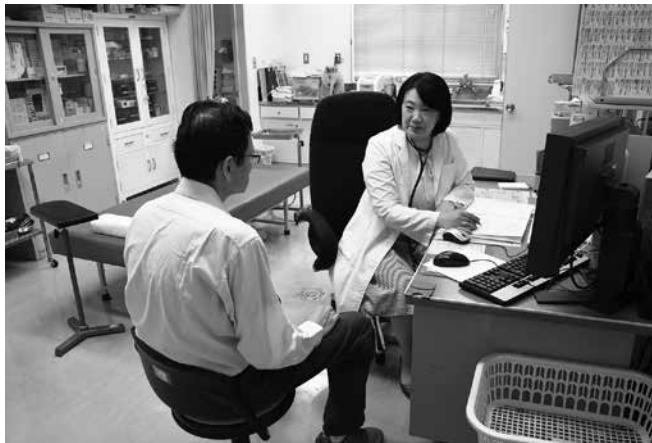
ホテル建設計画が浮上している勝沼地域の土地

岡 武男議員

政和クラブ



大藤診療所
(市HP)



診療が再開された大藤診療所。地域医療の拠点として欠かすことはできない

Q 大藤診療所 今後の診療体制は
A 10月から週4日の診療が可能となる

問 大藤診療所について、7月から週1日で診療を再開することだが、今後の診療体制を問う。

答 7月から9月までは祝日以外の毎週月曜日の診療となり、10月から週4日の診療が可能となる。来年度は常勤医の確保を目指す。

し、安定的な地域医療の確保に努めていきたい。

問 4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果をどのように活用しているのか。

答 文部科学省から結果が公表され次第、結果を分析して授業改善プランを作成する。また、作成した授業改善プランを各学校の授業に活用し、児童・生徒の学力向上に努めていく。

問 新学習指導要領への移行措置案が公表されたが、外国語活動の授業時間を確保するために、総合的な学習の時間を減らすことができるという内容であった。この移行措置案を受け止め、市ではどのように対応していくのか。

答 教育長 現在、小学校外国語活動担当者会議で話し合いを進めている。他教科とのバランスを考えながら、検討していきたい。

から、検討していきたい。
問 研究指定校になつている市内小中学校の活動内容と成果を問う。

答 現在、13校で9事業の3校がICTを活用し、タブレット端末を用いた合同授業に取り組んでいる。この授業を通じて多くの児童の考えに触れることができ、子どもたちの成長につながっていると思っている。

問 教職員の多忙化について、中学校の部活動と顧問教員の現状を問う。

答 学校では部活動を複数の顧問教員で対応することや、技術的指導を地域の専門家に依頼することなど負担軽減に取り組んでいる。今後も地域や保護者との連携を図り、顧問教員の負担軽減に努めていきたい。

問 研究指定校の研究成果を市内小中学校に普及させることが大切だと考えるが、いかがか。

答 研究成果を共有し、本市の教育を充実させていきたい。
問 市内小中学校における洋式トイレの設置状況を問う。

答 全534個のうち304個で、約57%が洋式トイレである。

効率的な営農に向け
農地集積・集約を進める

問 県営畑地帯総合整備事業の進捗状況を問う。

答 玉宮地域と日川右岸地域は今年度完成予定で、山地域と菱山地域は来年度以降の完成予定である。特に玉宮地域は、当初19畝の整備計画だったが、地域住民の協力によって計画を上回る24畝の整備が完了した。

問 圃場整備事業の今後の計画を問う。

答 農業競争力の強化に向けた農地整備だけでなく、農地の集積・集約化を加速するための耕作条件の改善を推進していく。なお、農地耕作条件改善事業として、大藤地域で今年度から5年間の工事を計画している。

野尻陽子議員

甲州世直しやるじゃん会



Q ホテル建設計画に対する市長の考えは

A 景観への配慮は当然だと考えている

問 勝沼地域へのホテル建設について、「高さ制限ぎりぎりの高さ20^{メートル}で4階建て以上が必要だ」と市長が話したとの報道があった。しかし、今定例会において、法令に適合したものでなければいけないと答えている。どちらが市長の本当の考えなのか。

答 市長 たとえ高さが法令に適合していても、景観に配慮することは当然だとホテル業者に話している。

問 今後、市がホテル業者と交渉し、勝沼の景観にふさわしい建物にするよう指導していくのか。

答 市長 ある程度の期間滞在できるホテルが望ましいが、河口湖にあるホテルのように、高さが低いものにしてもらいたいと要望している。

問 景観に違和感のない建物にするために、地域、行政、ホテル業者の三者で

十分に協議していく必要があるのではないかと。

答 申請はまだ出されていないが、地域に溶け込んだデザインに誘導することが重要だと考えている。また、地域住民の同意も必要になるため、景観保護を第一に考えて進めていきたい。

問 収容人数が多く、料金も安いホテルが建設されると、ぶどうの丘の営業に影響があるのではないかと。

答 ぶどうの丘は、バーベキューやレストランなど食事施設が充実しており、約170種類のワインの試飲ができるワインカーヴもある。観光客は食事とワインを目的に本市を訪れるため、ホテルが建設されても集客が見込めると予想している。

問 塩山駅前へのホテル建設について、市長の考えを問う。

答 市長 今まで宿泊施設

設が求められていたため、よい機会だと考えている。

問 勝沼・塩山のホテル建設について、今後の対応を問う。

答 申請が出される前に、建物の形状や色などを指導する事前協議があり、事前協議が完了した段階で申請を受け取る。

高齢化社会に求められる医療・看護のあり方は

問 在宅看護と在宅みとりについて、国の動向を問う。

答 内閣府が行った老人の健康に関する意識調査によると、最期を迎えたい場所について54・6%が「自宅で迎えたい」と回答している。こうしたニーズを受

けて厚生労働省では、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を送るための、医療、介護等が連携した地域包括ケアシステムの実現を目指している。

問 後期高齢者の急激な増加が見込まれているにもかかわらず、峡東地域の病床数を削減していくのか。

答 県地域医療構想では、在宅医療の提供体制の強化が重要だと考えており、現行の2002床から278床の削減を求めている。

問 訪問看護事業を民営化する理由を問う。

答 訪問看護師が不足し、現在の体制では対応に限界が生じていることから、民間の力を活用していくべきとの結論に至った。



勝沼町菱山地域のガードレールを景観配慮色に塗り替える取り組みの様子。ホテル建設も景観への配慮は欠かせない

高畑一幸議員

政和クラブ



通勤通学の送迎で混雑する塩山駅北口ロータリー。利便性の向上が求められる

Q 中央防災広場 火災発生時に活用されたのか

A 設備を用いて、消火活動支援ができた

問 次期市長選への出馬意向を8月に明らかにするとの報道があったが、市長の見解を問う。

答 市長 前向きに検討していくが、8月をめぐり態度を明らかにしたい。

問 市内の住宅密集地に

おける消防水利の整備状況と新設予定を問う。

答 市内全域で防火水槽396基、消火栓698基を整備している。また、分譲住宅の建設など開発行為の協議の際に設置をお願いしている。

問 4月に発生した建物

火災の際に、消火栓等を利用した消火作業が展開され、火災現場の下流域で水道水に濁りが発生したと聞いている。濁りの解消に向け、どのように対応したのか。

答 市民に迷惑をかけてしまった。濁った箇所より下流のバルブを開いて、濁りを水道管の外に排出する作業を行った。

問 中央防災広場にある防火水槽は活用されたのか。

答 貯水量100トの防火水槽が2基埋設されているが、井戸から給水補給するシステムを有しており、空になることなく消火活動

を支援することができた。

問 災害時などにドローンを活用する考えはあるのか。

答 操縦には知識と技術が必要となるため、利活用できるか研究していきたい。

問 本市では、被災時の

優先継続業務を定めた業務継続計画を策定している。この計画に基づいた、被災を想定した訓練を実施する予定はあるのか。

答 災害時協定を締結している県行政書士会及び県司法書士会と協議しながら、訓練を実施していきたい。

問 通学路の安全対策について、グリーンベルトの整備状況を問う。また、未整備箇所への設置要望をどのように把握しているのか。

答 塩山南小や勝沼小などの一部に設置済みで、平成29年度は大藤小に延長450メートルを設置予定である。また、校長会や区長会等が

委員となる甲州市通学路安全推進会議において、設置要望を上げてもらっている。

問 塩山バイパス歩道整備事業の平成29年度計画区間の進捗よく状況を問う。

答 青橋交差点から於曾橋西詰前までの、オギノ塩山店側の歩道296メートルを改修するもので、工事発注は10月を予定している。

生活・観光の両面から塩山駅北口周辺の整備を

問 塩山駅北口広場及び周辺整備検討会は開催されているのか。

答 年内に設立予定である。

問 塩山駅北口広場は通勤通学時に混雑し、車両がロータリーに入れないこともある。拡幅化など整備を実施する考えはあるのか。

答 現在、都市計画街路の計画見直しを行っており、ロータリーについても検討していきたい。

問 甘草屋敷周辺に入浴剤「甘草の湯」を利用した足湯を建設することで、観光PRと市民の集いの場になると考えるが、いかがか。

答 整備検討会で検討していきたい。



廣瀬宗勝議員

甲輝会



市総合計画の見直しについて(市HP)

問 第一次甲州市総合計画は平成20年3月に策定され、今年度が計画の最終年度である。これまでの10年間の計画達成状況と事業評価等を問う。

答 6つの基本目標を掲げ、市政運営に取り組んできた。①創意に満ちた活力ある産業のまちづくりについては、原産地呼称ワイン認証制度の開始や日本農業遺産への認定など、地域ブランドの推進に力を注いだ。②健康・福祉のまちづくりについては、中学3年生までの医療費無料化の実施や、県内初の産前産後ママのほっとスペースを開所し、切れ目ない支援の充実を図った。③安心して暮らせるまちづくりは、災害時に対応可能な都市基盤整備や景観計画の策定などを行った。④自然と共生する環境保全のまちづくりについては、甲府・峡東クリー

ンセンターの運用開始など地域環境の保全に配慮してきた。⑤心豊かな教育文化のまちづくりは、小中学校の耐震事業や確かな学力育成プロジェクトなどを実施した。⑥参画と協働のまちづくりは、各種シンポジウムの開催や市民提案型協働のまちづくり事業への支援などを行った。評価として、おおむね計画どおり実行されたと考えている。

資質向上に向けた職員研修の実施を

問 本市の職員として求められる職員像を踏まえ、市独自の研修を実施する考えはあるのか。

答 平成28年度は、市独自に財政基礎研修や行政改革研修など9研修を実施した。今後も接遇や公文書の書き方など、職員として求められる資質の向上に向

A おおむね計画どおり実行できた

Q 第二次甲州市総合計画の達成状況は

け、今まで以上に市独自の研修を実施していきたい。

問 平成27年度に実施された農業センサスの結果から、本市の農業の課題をどのように分析し、施策に生かしているのか。

答 高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加など、国内の農業が抱える課題が本市にも現れている。この課題解決に向けて新規就農支援を実施してきたが、内容を見直してさらなる支援の充実を図っていきたい。

問 アジアに向けた果実輸出事業の成果を問う。

答 昨年はマレーシアや香港等で商談を進め、果物の輸出货量がマレーシアは1・5ト、香港は1・7ト

となった。

問 塩山駅周辺の賑わいを取り戻すために、どのように整備を進めていくのか。

答 利用者や地域住民の集いの場となるよう利用しやすい環境を整備していく。また、駐車場の整備やロータリー内の安全性を高める整備を進めていきたい。

問 次期市長選について、出馬の意向を明らかにしないと、市長を信頼する市民が不安になるのではないか。この議場で意思を表明してもらいたい。

答 市長 ギアをバックに入れるつもりは全くないが、8月をめどに態度を明らかにしたい。



市職員研修の様子。資質向上に結びつく研修の実施を期待したい

日向 正議員

希望の風



甘草屋敷の売店と飲食スペース。有効的に活用したい

Q 行政区加入率向上に向けて対応を
A 区の考えに沿った対策を検討する

問 行政区に加入していない市民への広報の配布状況を問う。

答 現在、一部特例の世帯を除き、組や自治会に加入していない世帯への広報配布は実施していない。しかし、広報配布日には市役所本庁舎などの公共施設や、

市内のJ A等に最新号を設置しており、市ホームページにおいても掲載している。

問 市民の行政区加入率の向上に向けて、どのように対応していくのか。

答 お互いが助け合うことができる地域コミュニティを形成することが大切であり、全市民の加入が理想である。今後、各区長と話し合い、区の考えに沿った対策を検討していきたい。

問 平成27年度に子ども・子育て支援新制度が創設され、幼児期の教育振興が求められている。本市においても保育所や幼稚園に対して教育費の支援を行い、幼児教育日本一のまちを目指すことで、人口増加に繋がると考えるが、いかがか。

答 幼稚園については就園奨励補助制度があり、所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行い、保護

者の経済的負担を軽減している。一方、保育所は厚生労働省管轄の児童福祉施設であるため、教育費の支援はできないと思われる。

問 世間では、忍耐力や集中力などの目に見えない能力である、非認知能力を育てる教育を求める声が大きくなっている。本市においても、専門の講師を派遣して非認知能力を育てる教育をすべきだと考えるが、いかがか。

答 本市の保育所では、ボランティアや講師を依頼してソフトボール、体操、お茶などの教室を実施している。また、小中学校の長期休暇中にALT（外国語指導助手）による英語教室の開催を計画している。

問 読書は知識を豊かにするだけでなく、物事の本質を見極める力が付くと言われている。市内の小中学校において、どのような読書

活動が行われているのか。
答 市内の全小中学校で朝読書を実施しており、小学校では司書やボランティアによる読み聞かせ活動も実施している。

公共施設を活用し
カフェの開設を

問 公共施設の活用について、市公共施設等総合管理計画では、既存の設備は複合化や多機能化を図るとしている。この方針に基づき、甘草屋敷内の売店と飲食スペースを地元業者に貸し出し、甘草をテーマにしたカフェの開設を提言するが、いかがか。

答 甘草屋敷は多くの人々が集う重要文化財であり、開かれた交流の場として今後も活用していく。カフェの開設は借り手の意向によるため、借り手から相談があったときに適切に対応していきたい。

問 市民文化会館について、図書館に隣接する庭に賃貸借契約でカフェを誘致することはできないのか。

答 関係部署と連携し、利用者の利便性向上に向けて方策を検討していく。



平塚 義議員

甲輝会

Q 勝沼氏館跡 住民に方向性の説明を

A 共に方向性を検討していきたい

問 勝沼氏館跡について、検討委員会の中間報告と将来の方向性を問う。

答 文化庁から事業計画について指導を受け、計画的に施設の再整備ができるようになり、平成29年度は東屋の修理などを実施する。整備が完了している区域は管理を強化し、公有化されていない区域は必要に応じて買い上げ等を行っていく。

問 勝沼氏館跡の将来の方向性を、地域住民に説明する機会を設けるべきだと考えるが、いかがか。

答 地域との連絡を密にし、より良い方向性を一緒に検討していきたい。

来に継承するために必要な事項を定めたものである。

問 勝沼地域へのホテル建設について、建設予定地周辺の畑は農振農用地から除外されているのか。

答 市町村合併前に農振農用地から除外されており、転用が可能な農地である。

問 県営畑地帯総合整備事業について、整備の要望があった地域に対して、今後どのように対応するのか。

答 新やまなし農業大綱に沿った事業説明やワークショップ等を行い、地域の同意を得てから事業採択の申請を行っていく。

ぶどうの丘経営戦略 2回の策定に必要性は

問 ぶどうの丘について、平成27年から営業担当を設置しているが、成果は

あったのか。

答 平成27年度は、旅行会社を通じた利用者9315人のうち、営業を行った旅行会社を通じた利用者が3651人で、全体の39・2割であった。28年度は、旅行会社を通じた利用者1万4718人のうち、営業を行った旅行会社を通じた利用者が1万4311人で、全体の70・9割であり、着実に成果が出ていると判断している。

問 平成27年度と28年度に提出された経営戦略の違いを問う。

答 平成27年度の経営戦略は、22年度から26年度までの5年分の決算数値を用いて作成したものである。28年度の経営戦略は、これ

に27年度と28年度の2年分を加えて作成している。

問 平成28年度の経営戦略策定業務の委託先を問う。

答 有限責任監査法人トーマツに委託し、契約金額は529万2000円である。

問 地方創生拠点整備交付金を活用した、サテライトオフィス整備事業の進捗よく状況を問う。

答 現在、設計委託のプロジェクト実施に向けて準備を行っている。

問 事業費に対する補助率が高いとのことだが、実質的な負担金額を問う。

答 総事業費1億3470万円から交付税措置分を引いた、4407万5000円が市の負担分である。



今年度整備が予定されている勝沼氏館跡の東屋

常任委員会レポート

教職員の多忙化解消に向けて

部活動指導員を7月から運用開始

総務常任委員会を6月26

日に開催しました。

主な審査内容を要約してお伝えします。

る根拠を問う。

○ 県の要領で日給1万

円以内、1日5時間以内と定めており、それを時給に換算したものである。

■市個人情報保護条例等の一部改正

○ 個人情報ファイルの件数を問う。

○ 104件である。

■市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁

償に関する条例の一部改正

○ 部活動指導員の報酬について、時給2千円とす

ら運用していきたい。

○ 市行政手続きにおける

特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

○ 本人からの申請の有無にかかわらず、個人番号を利用できる事務を追加するということか。

○ そのとおりである。

■平成29年度一般会計補

○ 正予算(第1号)

○ 保育料の負担軽減制

度拡充の内容を問う。

○ 市民税非課税世帯

の多子世帯について、第2子以降の保育料が無償となる。また、ひとり親世帯について、軽減額が大きくなる。

○ ボーヌ市のフェスティ

バルに誰が参加するのか。

○ 市民課、産業振興課

及び勝沼ワイン協会から各

1人を予定している。

総務常任委員会

○ 相澤俊行 ○ 中村勝彦

岡 武男

矢野義典

丸山国一



中学校の部活動の様子。部活指導員の運用により顧問教員の負担軽減となるのか

教育民生

「近代化とワイン」をテーマに 牛久市と日本遺産認定を目指す

教育民生常任委員会を6

月23日に開催しました。

主な審査内容を要約してお伝えします。

■平成29年度一般会計補

○ 正予算(第1号)

○ 教育総務費について、備品購入費58万400

0円の内容を問う。

○ 実践的防災教育推進

事業の研究指定校である大和中小学校に、緊急地震速

報の受信機を購入するものである。

○ 歴史文化財活用推進

事業費の内容を問う。

○ 茨城県牛久市と連携

して「日本の近代化と日本遺産認定」をテーマに、日本遺産認定に向け取り組むものである。これからストーリー

性の構築に向けて両市で協議会を開催する予定であり、文化庁の指導を受けながら認定を目指していく。

■市特定教育・保育施設

及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正



近代化産業遺産に指定されている宮光園。ワイン醸造の歴史を伝えている

新農業委員会制度

農地利用最適化推進委員を新設

建設経済常任委員会を6月23日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定
問 農業委員と推進委員の役割を問う。また、定数を各19人とした理由を問う。
答 農業委員は農業委員会に出席し、議案を審議して議決を行う。推進委員は担い手対策、耕作放棄地対策など地域に密着した活動

を行う。農業委員は法令で定められた上限の19人とし、推進委員は現行の農業委員の意見を反映して19人とした。

問 推進委員より農業委員の方が、報酬額が高いのはなぜか。
答 農業委員は自身の業務に加え、推進委員の業務も担うためである。
問 今までは公選制で、選挙区ごとに委員定数が割り振られていたが、選任方法はどのようになるのか。
答 両委員とも公募・推

問 保育所等への入所に開わる交付書類に変更はあるのか。
答 今までは保護者からの入所申請に対して審査を行い、入所承認書、支給認定証及び利用決定通知書を交付していたが、この改正により「支給認定証」については、保護者から求められた場合に交付することとなる。

■市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正
問 地域包括支援センターの体制を問う。
答 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（主任ケアマネージャー）が各2人配置されており、法令で定める基準を満たしている。
問 新設された主任介護支援専門員更新研修の内容

を問う。
答 主任介護支援専門員が更新制となり、5年ごとに更新研修の受講が必要となる。なお、研修は県が指定する機関が実施し、研修時間は46時間である。
 教育民生常任委員会
 ◎高畑一幸 ○川口信子
 平塚 義 古屋匡三
 古屋 久

薦制となるが、農業委員は市内全域から募集を行うこととなる。

■平成29年度一般会計補正予算（第1号）
問 農業委員会補助金に45万6000円が計上されているが、内容を問う。
答 農業委員会の活動実

績に対する交付金で、農業委員と推進委員の38人分を計上したものである。
 建設経済常任委員会
 ◎黒川武雄 ○野尻陽子
 廣瀬宗勝 夏八木盛男
 日向 正 廣瀬明弘

■市営住宅設置及び管理条例の一部改正
問 熊野住宅と円光団地の概況を問う。

答 熊野住宅は熊野神社の敷地内にあり、戸数3戸の木造平屋建てで、床面積は1戸当たり36・4㎡である。円光団地は東雲小に隣接する東雲ふれあい親子館の敷地内にあり、戸数1戸の木造平屋建てで、床面積



現行の農業委員会の様子

表紙の写真

夏の訪れを告げるように強い日差しが照りつけた7月上旬、東雲保育所において七夕飾りの飾り付けが行われました。それぞれの願い事を書いて笹の葉にかけた短冊。みんなの願い事がかとうといいですね。



「甲州だより」 No.47 「ご先祖さま」 作・三森 清

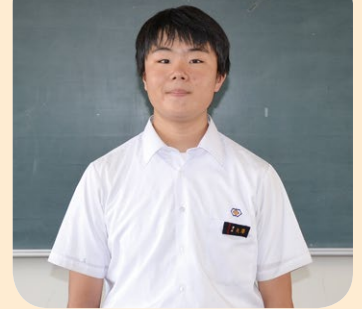


9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
		本会議 (開会)				
9/3	4	5	6	7	8	9
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	予備日	常任委員会 (教育民生 建設経済)	常任委員会 (総務)		決算審査 特別委員会 (一般会計 財産区会計)	
17	18	19	20	21	22	23
		決算審査 特別委員会 (一般会計 財産区会計)	決算審査 特別委員会 (特別会計 企業会計)	決算審査 特別委員会 (特別会計 企業会計)		
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 (閉会)					

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください。)
○傍聴される方は市役所本庁舎3階へお越しください。

輝く甲州市民



矢澤 佐千生 さん
塩山下於曾 (14歳)

(FLL Razorback Invitational (青少年を対象とした国際的なロボット競技会)の研究部門で第3位)

4コマ漫画を描いてみませんか?

議会広報編集委員会では、議会広報へ掲載する4コマ漫画の筆者を募集しています。漫画を描くのが趣味や特技の方など、年4回発行されている議会広報に掲載してみませんか?詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

甲州市ホームページで議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックして、続いて「会議録の検索と閲覧」をクリックしてください。

こちら編集室

■夏休みになり、子どもたちを見かける機会が多くなりましたが、最近はおそろい帽子をかぶる子どもが少ない事に気付きました。夏の風物詩である麦わら帽子は、麦やわらで編んでいるため空気を通し、中にこもる熱を放出でき、湿度の高い日本の夏には最適で紫外線予防にもなる。今年の夏も連日の酷暑が続いていますが、熱中症対策として、

- また、夏の思い出作りとして、古き良き物を活用してみてはいかがでしょうか。「温故知新」故(ふるき)を温(たず)ねて新しきを知ることも大切ですね。(畑)
- 議会広報編集委員会
- 議長 丸山 国一
 - 編集委員長 廣瀬 明弘
 - 副委員長 平塚 義
 - 委員 廣瀬 宗勝
 - 委員 廣瀬 宗勝
 - 委員 古屋 久
 - 委員 夏八木 盛男
 - 委員 高畑 一幸
 - 委員 中村 勝彦